

「海をきれいに、安全に、秩序正しく」

海上保安友の会札幌支部



会報 (第40号)

令和4年3月8日発行



表紙写真（石狩灯台初日の出（石狩観光協会提供））

海上保安友の会札幌支部事務局

〒047-0007

小樽市港町5番2号 小樽地方合同庁舎

小樽海上保安部 管理課 内

電話 0134-27-6118 F A X 0134-23-9700

正会員数 81名 (R4.3.1現在)

～令和3年度 秋冬の活動～

小樽海上保安部交通課の秋から冬にかけての活動内容を紹介します。

① SUP（スタンドアップパドルボード）体験講習会（10月）

SUPは近年、注目されているマリナクティビティで、海や湖、川など幅広く、また子供も楽しめるとあって愛好者が増加しています。このため、今後の安全啓発を行うにあたって、体験講習を行いました。



② 小樽市地方港湾審議会（10月）

小樽港の港湾計画改訂に係る審議に小樽海上保安部長が委員として出席。



③ 灯台記念日に係る一般公開及びライトアップイベント（10月30日）

灯台記念日事業として日和山灯台の一般公開及びライトアップと はまなすの丘公園ガイザーセンター（石狩）で石狩観光協会と連携して灯台の歴史解説ガイドツアーとライトアップを実施しました。

なお、ガイド状況はYouTube「石狩灯台ライトアップ」で視聴できます。



日和山灯台

石狩灯台

④ 水上オートバイ利用者に対する海難防止啓発活動（11月5日）

JRタワーホテル日航札幌にてシーバードJAPANが主催する「シーバードJAPANJETカレッジ2021東日本大会」のシーバード小樽地区のディスカッションパネラーとして参加し、啓発活動を行いました。



⑤ 北海道アウトドアフォーラム2021での啓発活動（12月1日）

国立日高青少年自然の家が主催する北海道アウトドアフォーラム2021に参加し、マリンアクティビティに関する安全啓発や海上保安庁のPR活動を行いました。



参加者に挨拶する うみまる

海保 PR ブース

参加者との交流プログラム

⑥ 港内係留船舶の積雪パトロール（1月）

降雪により、港内に係留している船舶に積雪が溜まり、例年沈没する船舶が発生していることから、除雪の啓発を行いました。



除雪する船舶所有者

管理会社に訪問し、所有者への啓発を呼びかけた

⑦ 航路標識の冬季の保守業務（1月）

灯台等通常の航路標識巡回保守業務に加え、灯台の明かりが消えたりした場合は、すぐに職員を派遣し復旧にあたります。

冬季の沿岸灯台は、新雪で深い雪の中カンジキを履いて足を取られながら、またブリザードの中、通常より数倍の労力を要し業務にあたっています。



積丹出岬灯台



石狩灯台

⑧ 釣人への海難防止啓発活動（2月）

北海道古宇郡泊村の兜千畳敷海岸では昨年二名の方が海中転落して亡くなられたことから、定期的に警察、消防、海保で合同パトロールを行っています。



消防 海保 警察

⑨ 釣人への安全啓発（2月）

釣り人の海中転落事故防止のため、情報発信力のある著名人に対し、小樽保安部長から「フィッシング・セーフティ・リーダー」に指定させていただきました。



フィッシング・セーフティ・リーダーの指定書の交付

矢野 愛美さん
(第39代ミスさっぽろ・雪の女王)



児島 秀明さん
(FM North Wave サブパーソナリティー)

⑩ 航路標識協力団体指定証伝達式（石狩灯台）（2月）

航路標識協力団体は灯台の文化価値を守りながら地域での利活用を推進する目的で令和3年11月に創設された制度です。この度指定された石狩観光協会は、これまで草刈りや清掃、灯台記念日に合わせた一般公開やライトアップ、隣接する「はまなすヴィジターセンター」では灯台のレンズや模型、説明パネルを展示している。今後は当会のガイドツアーに灯台の一般公開(予約制)を加える予定です。



指定証の交付

～巡視船ほろべつ潜水訓練～

ドルフィン訓練（目的：泳力強化）



登攀（とうはん）訓練（目的：現場到達能力強化）



氷下潜水訓練①（目的：特殊環境下での活動能力向上）



氷下潜水訓練②



投稿

～新年号に寄せて～

札幌支部会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。会長の徳梅 真です。
明けましておめでとうというには時間が経ちすぎておりますが、本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

いまだに新型コロナウイルス感染症等が猛威を振るい収束する気配が見えない今日この頃ですが、今後も油断せずに引き続き気を付けてこの難局を乗り越えてまいりましょう。

さて、今回投稿をさせていただきますのは、昭和47年の古い話で恐縮ですが「灯台学生寮」の話を少し書かせていただきます。

私は東京都内の大学に進学することになり当時は室蘭市に居住しておりまして、父が室蘭保安部に勤務をしておりましてから横浜市鶴見区東寺尾にありました寮に入りました。首都圏には身寄りがありませんでしたので、寮生活は当然のことと思ひ特に気にはなりませんでした。
(現在では寮住まいをされる方はあまりおられないと思いますが…)

その年は全国から15名ほどの子弟が入寮し、4年生（ほぼ全員が大学生）までの約50名が在籍をしていました。親が海上保安庁の職員でしたので違和感はなく、まあこんなものかと思っておりました。

しかし、その日の夜に新入寮生歓迎コンパがあり様相は一変です。寮長の方は当時でもご高齢でしたが外国航路のキャプテンを務められたとのことでめっぽうお酒が強い方で最後まで崩れることなく全員で宴を楽しまれておりました。（今では18歳未満の飲酒厳禁ですが当時は当たり前前のことで既に時効かな？）で、その寮の伝統であった60cmはある盃にお酒を注ぎ新入寮生を含めた全員で回し飲むという儀式の時、福岡から来ておりました一人の新入寮生がお酒に弱く苦しんでおり、私が代わってあげたことから親しくなり社会人になってからも交流が続き、約50年の長き友（北九州市在住）となっております。今春、進学や就職をされる方がおられると思いますが、一つのきっかけが今もこのように親友として続いていることに何か人生とは不思議なものと感じております。その「灯台学生寮」は既に存在はしていませんが、友の会会員として海上保安庁に関わることの思い出として投稿させていただきました。

最後に、この度、会員の皆様方へ札幌支部といたしまして感謝の気持ちをお届けいたしたいと思ひ、記念品を進呈させていただきますので、どうぞお受け取りください。

よろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

投稿

～副会長就任に際してのご挨拶～

海上保安友の会 札幌支部 澤田奈緒美

この度、海上保安友の会札幌支部の副会長を務めさせていただくことになりました。若輩者でありながらこのような大役を仰せつかり、身の引き締まる思いがいたします。益々、海上保安庁の応援に力を入れていきたいと意気込みを新たにしております。

私が海上保安庁を知ったきっかけは、海上保安大学校で行われている潜水訓練の動画を視聴したことでした。厳しい訓練に挑み、「絶対に潜水士になりたい。人の命を救いたい。」と意気込む海上保安官の方々の熱い思いに感動し、涙が止まらなくなったのを覚えています。誇りと高い志をもって訓練に励む姿に、職種は違えど尊敬の念を抱かずにはいられませんでした。更に、海上保安庁の業務が海難救助に留まらず多岐にわたること、365日休むことなく日本の海を守り続けていることを知り、ぜひ応援したいという気持ちになりました。「いつでも大好きな巡視船に会いに行ける街に住みたい。」という思いから、第一管区海上保安本部・小樽海上保安部のある小樽に移住して、今年で5年目になります。

海上保安友の会に入会してからは、巡視船の体験航海や一般公開、地域の行事などで、多くの海上保安官の方々や海保ファンの皆様と交流をさせていただきました。また、勤務先の小学校では、『海で安全に遊ぶために』という動画を全校視聴したり、海上保安庁の出前授業を依頼したり、いろいろな場面で海保の皆さんにご協力をいただいています。毎年、海水浴シーズンに痛ましい事故が起きているので、小学生の頃から海の安全に関する教育を行い、子どもたちの大切な命を守ることに繋がっていきたく切に願っています。

現在、コロナ禍でイベント等は縮小を余儀なくされていますが、これからも皆様と共に本会の活動を盛り上げ、更に海上保安庁の応援に力を入れていきたいと考えております。今後も皆様方のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

投稿

海上保安友の会札幌支部

副会長 高山 譲

令和 4 年になり、新型コロナウイルスへの感染拡大が収まって来たようにも思えた新年のスタートでしたが、昨年末から新年は変異した新型コロナウイルスの感染拡大に警戒する必要性が報道されておりました。予想どおり、七草のころから変異したオミクロン株の急激な感染拡大の猛威に全国が襲われ、私たちの住む北海道も恐怖の毎日が続いておりますが、会員の皆様におかれましても各職場やご家庭での感染拡大防止対策を取られていると思いますが、長期間に渡るこれらの疲れと、感染拡大の予防のために始まりました、新生活様式を更に見直されて、日々の生活パターンに変化を付けて行く必要性の中、大変な日々をお過ごしのことと思います。

この 2 年間、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、テレワークとかソーシャルディスタンス・PCR 検査・発熱外来・濃厚接触者等、新型コロナウイルスの流行前はあまり聞かれなかった言葉が、今は日常会話として使われる毎日となっております。

このような中、友の会札幌支部の活動にスポットを当ててみますと、イベント等の実施は感染拡大防止上の観点から実施は大変厳しい状況下であり、会員の皆様が一番楽しみにしております体験航海等もしばらく実施できない状況が続いております。友の会役員も一同出席して会議を開くことも困難な日々が続いております。しかし、大規模イベントはすべて中止となりましたが、小樽海上保安部主催行事の灯台の公開や 118 番周知活動等は感染拡大防止に配慮されて実施されており、これらの行事を通して会員の皆様も海上保安庁についての理解を更に深めていただければと思います。

また、小樽市や札幌市で毎年実施しておりました冬の大型イベントも、感染拡大防止のため、昨年同様に中止や規模の縮小、内容の大幅見直し等により、これらの主催者の各自治体や観光協会・実行委員会等も対応に苦慮されている報道を目にしており、やはり感染拡大防止を主軸に置くとやむを得ない決断なのだなあと感じております。

まだ先が見えない新型コロナウイルスの感染拡大ですが、会員の皆様がまた一同にお会いし、友の会活動ができる日を楽しみにしております。また年度末には会員の皆様に海保グッズが届けられることとなっておりますので、グッズを手にして、「友の会」の今までの活動を思い出していただき、新年度も海上保安庁の応援団であります海上保安友の会札幌支部のご支援をよろしくお願い申し上げます。

～令和 3 年度小樽港に寄港した巡視船～

(提供：高橋理事、小樽海上保安部 花木係長)

① 巡視船ふそう



② 巡視船そうや



③ 巡視船とかち



④ 巡視船そらち



⑤ 巡視船えりも



⑥ 巡視船ゆうばり



♪♪原稿・写真募集中♪♪

会員皆様の本会報への投稿記事又は写真などをお待ちしています。

また、海上保安新聞への投稿もよろしくお願ひします。

次の送り先に郵送又はFAXにて送付してください。

送り先：海上保安友の会札幌支部事務局

〒047-0007 小樽市港町 5-2 小樽海上保安部内

TEL0134-27-6118 FAX0134-23-9700